

<u>ファイル名</u>	SmtplibClient.vbp
<u>プロジェクト名</u>	VBSmtplibClient (ActiveX DLL)
<u>クラス名</u>	SmtplibClient
<u>モジュール名</u>	SmtplibClient.cls (クラスモジュール)

説明

RFC821 で定義されている SMTP のうち、一部の機能を実装している。具体的には、HELO、MAIL FROM:、RCPT TO:、DATA、QUIT の各コマンドである。

プロパティやメソッドで String 型のデータを渡すときは、UNICODE 文字列を用いること。かつ、いわゆる半角の英数字（ASCII Code で 0 から 127）を用いなければならない。

キーワード

SMTP、クライアント、ActiveX DLL、RFC821

<u>プロパティ名</u>	ServerName
<u>戻り値型</u>	String
<u>引数</u>	ByVal strNewName As String
<u>説明</u>	SMTP サーバのドメイン名を指定する。IP アドレスを指定してもよい。

<u>プロパティ名</u>	ServerPort
<u>戻り値型</u>	Integer
<u>引数</u>	ByVal intNewPort As Integer
<u>説明</u>	SMTP サーバの接続ポートを指定する。デフォルト値は 25 で、ほとんどの場合、 <u>変更してはならない</u> 。

<u>プロパティ名</u>	ClientName
<u>戻り値型</u>	String
<u>引数</u>	Byval strNewName As String
<u>説明</u>	SMTP サーバに HELO コマンドを送信する際に用いられる、クライアント側の名前。つまり、SMTP サーバに対してクライアントが名乗る名前である。

<u>メソッド名</u>	SetReversePath
<u>引数</u>	ByVal strAddress As String
<u>説明</u>	メールの送信元への path を設定する。RFC821 で定義されている reverse - path に相当する。SMTP サーバに MAIL FROM: コマンドで送信される。

<u>メソッド名</u>	SetForwardPath
<u>引数</u>	ByVal strAddress As String
<u>説明</u>	メールの送信先への path を設定する。RFC821 で定義されている forward-path に相当する。SMTP サーバに RCPT TO: コマンドで送信される。複数回このメソッドを実行することにより、複数の送信先を設定することができる。

<u>メソッド名</u>	SetData
<u>引数</u>	ByVal strSentense As String
<u>説明</u>	メールの本文を設定する。複数回このメソッドを実行すると、本文は次々につなげられ、長くなっていく。

<u>メソッド名</u>	Send
<u>説明</u>	メールを送信する。

<u>プロパティ名</u>	ErrorMessage
<u>戻り値型</u>	String
<u>説明</u>	通信中（Send メソッド実行中）に発生したエラーの内容を保持している。 3 文字のコードと 1 文字の空白が先頭にあり、エラーの説明が続く。3 文字のコードは以下の意味を持つ。

1. コードが 3 桁の数字の場合：

SMTP で定義されたエラー、又はメッセージ

2. コードが ??? の場合：

Winsock コントロールの Error イベントで取り扱ったエラー

3. コードが \$\$\$ の場合：

On Error Goto によりトラップされたエラー

4. コードが +++ の場合：

その他のエラー

エラーがなかった場合には、ErrorMessage は長さゼロの文字列 ("") である。通信中のどの時点でエラーが発生したかは、Log プロパティの内容を解析することにより判明する。

<u>プロパティ名</u>	Log
<u>戻り値型</u>	String
<u>説明</u>	通信中（SendMail メソッド実行中）のログ。SMTP で送受信されたデータ及びエラーが記録されている。vbCrLf で区切られた複数行で構成されているが、各々の行は、"< "、"> "又は"? "で始まり、それぞれ、送信 1 行、受信 1 行又は 1 回のエラーを意味する。